

# 未来を一緒に描いてくれる、人とともに。

エファは、ラオスとカンボジアで、障害がある子どもたちの学習支援をしています。一人ひとりの子どもたちにぴったりの「ばしょ」「もの」はもちろん、成長を見届けてくれる「ひと」がいないと「ばしょ」も「もの」も生きません。また、障害がある人の世界は「違う世界」ではなく「多様性のひとつ」だとエファは信じています。

今回は障害がある子どもたちが見える世界を描いた映画「僕が跳びはねる理由」と、ディスレクシア（文字の読み書きに著しい困難を抱える障害）がありながらも江戸太神楽曲芸師として活躍している鏡味千成さんの基調講演と太神楽曲芸をたっぷりお楽しみいただきながら、子どもたち一人ひとりが未来を描くために私たちができることを考えるきっかけとなれば幸いです。



## 映画「僕が跳びはねる理由」

会話のできない自閉症という障害を抱える作家・東田直樹が13歳の時に執筆したエッセイが30か国以上で出版された大ベストセラーが映画化。自閉症者の内面の感情や思考、記憶をわかりやすい言葉で伝えていく。

## 鏡味千成（江戸太神楽曲芸師）

こどもの頃、読み書きが苦手で、学校の授業やテストがよく理解できず、家族からも心配されていました。そんな時、落語好きの両親に池袋や新宿の寄席に連れられて出会ったのが『演芸』でした。寄席で出会った「太神楽」に感動、自分が輝いていける道はこれだと思い、曲芸の世界に飛び込みました。

日時：2024年12月7日（土） 14:00～17:30（14:15開演）

第1部 映画「僕が跳びはねる理由」上映

第2部 鏡味千成先生 基調講演と江戸太神楽曲芸

会場：日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール（207席）

参加費：2000円（1部、2部通し）

申込み：右QRコードもしくは <https://efajapan20th.peatix.com> より

主催：認定NPO法人エファジャパン 東京都千代田区九段南3-2-2 3F

協賛：

